

再評価実施事業調書

番号	5	事業名	社会資本整備総合交付金(河川事業)		路線又は箇所名等		二級河川一宮川水系 一宮川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	昭和 46年度	用地着手 年度	昭和 49年度	工事着手 年度	昭和 56年度	再評価の 理由	再々評価		
費用便益比 B/C	1.99 (2.37)	総費用 (現在価値)	451.8億円 (91.0億円)	総便益 (現在価値)	897.1億円 (216.0億円)	基準年	平成 27年度	供用開始 年度	平成 34年度

※上段：全体事業 下段()：残事業

【事業概要】

(目的)

一宮川では昭和46年度から河川改修事業に着手しているが、平成元年および平成8年の台風により記録的な大水害を受けたことから、2度にわたる河川激甚災害対策特別緊急事業により、調節池の建設と河道掘削、堤防嵩上げ等を実施してきた。

しかし、平成25年の台風により、茂原市をはじめとする一宮川流域で1,200戸を超える浸水被害が発生しており、早急に治水安全度の向上を図る必要がある。

(主な実施内容)

河道の改修延長 7,340m 掘削 1,763,300m³ 築堤 13,620m 用地買収 171,490 m²
調節池の増設容量 400,000m³ 掘削 400,000m³ しゃ水工 1,200m 用地買収 90,000m²

【事業の進捗状況】(H27年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	184.1	98.0	86.1	53.3

【社会経済情勢等】

① 流域状況

本流域は、平成25年4月の圏央道の開通によりアクセスが向上し、茂原にいはる工業団地の整備など流域の開発が進んでおり、また、地球温暖化に伴い増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれることから、治水安全度の向上が急務である。氾濫区域には、茂原市の中心市街地の他、JR外房線や国道128号、409号を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい地域である。

② 主な水害状況

- ・平成元年8月1日(台風12号) 浸水面積 614ha 浸水家屋数 2,460戸
- ・平成8年9月22日(台風17号) 浸水面積 1,260ha 浸水家屋数 2,594戸
- ・平成25年10月16日(台風26号) 浸水面積 687ha 浸水家屋数 1,226戸

③ 投資効果

[裸書:全体事業、():残事業]

- ・浸水戸数 2,711戸(1,117戸) ・浸水面積 896ha(295ha)

④ その他

- ・二級河川一宮川水系河川整備基本方針の策定 H27.6.3
- ・二級河川一宮川水系河川整備計画の策定 H27.8.7
- ・圏央道(首都圏中央連絡自動車道)H25.4.27
- ・一宮川流域治水環境対策協議会
- ・一宮川河川改修促進期成会

【対応方針(案)】

一宮川水系は、残事業・全体事業ともB/Cが1を超えており、事業の投資効果が見込まれる。また、工業団地の整備などによる市街化の進展により流出増が見込まれ、さらに本治水事業への地元からの要望が大きいことから、事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

事業概要図

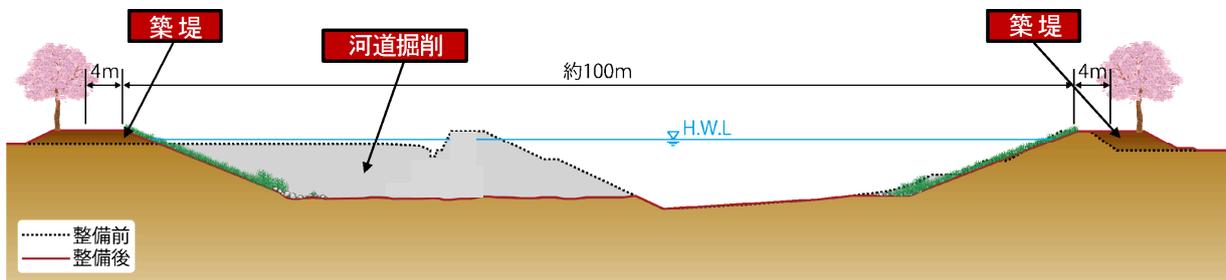
番号	5	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)	路線又は 箇所名等	二級河川 一宮川水系 一宮川
----	---	-----	-----------------------	--------------	-------------------

計画平面図

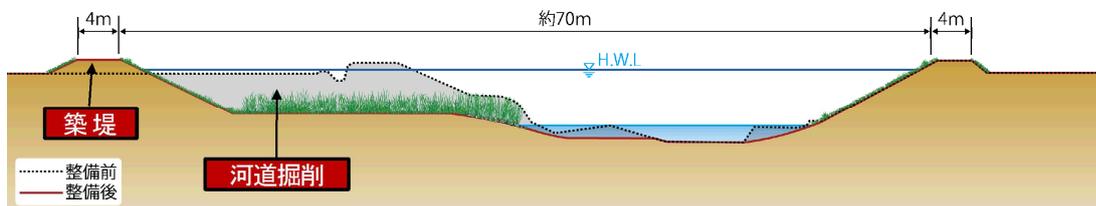


標準横断面図

- 一宮川河口～瑞沢川合流点付近 (L=7,040m)



- 阿久川合流点付近 (L=300m)



再々評価事業に関する調書

番号	5	事業名	社会資本整備総合 交付金(河川事業)	路線又は 箇所名等	二級河川 一宮川水系 一宮川	
事業化年度	昭和 46 年	用地着手年度	昭和 49 年	工事着手年度	昭和 56 年	
【再々評価 (H25 年度) の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続	
B/C	1.77 [1.47]	総費用	21.3 億円 [131.9]	総便益	37.6 億円 [193.8]	
(裸書 : 残事業、 [] : 全体事業)						
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。						
再評価時の進捗状況及び再評価時想定の 5 年後の進捗状況						
		計 画	進捗状況 (H25)			
事業費		109.0 億円	87.1 億円 (79.9%)			
うち用地・補償費		41.3 億円	40.0 億円 (96.9%)			
うち工事費		67.7 億円	47.1 億円 (69.6%)			
【再々評価 (H27 年度) の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成 27 年度	供用開始年度	平成 34 年度	対応方針	継続	
B/C	2.37 [1.99]	総費用	91.0 億円 [451.8 億円]	総便益	216.0 億円 [897.1 億円]	
(裸書 : 残事業、 [] : 全体事業)						
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況 (H27)			
事業費		184.1 億円	98.0 億円 (53.3%)			
うち用地・補償費		57.1 億円	46.8 億円 (82.0%)			
うち工事費等		127.0 億円	51.2 億円 (40.4%)			
再評価後の 経過 及び 処理状況	平成 26 年 1 月 平成 25 年度第 2 回千葉県県土整備公共事業評価「継続」					